IT時事ネタキーワード「これが気になる！」（第2回）

LINEでのプライベート会話流出のカラクリ

2016.06.16

去年末から今年初頭にかけての、女性タレントと既婚者アーティストの不倫スキャンダル。特に女性タレントは、多くのレギュラー番組やCMを降板したりなど、タレント活動にも支障を来してなかなか大変そう。そういえば最近、芸能活動を再開した、という話だが、相変わらず世間の風当たりは厳しい。ご存じとは思うが、これら騒動のきっかけが、スマートフォンのメッセンジャーアプリ「LINE」の会話。第三者が、会話のキャプチャーなどを出版社に流した、ということらしい。

この事件に関して、ITジャーナリストの筆者としては、道義的な問題とか、世に与えた影響とかも確かにあるけれど、本来なら流出するはずのないスマホ内の個人的な会話がなぜか流出してマスコミの手に渡ったことに注目したい。よくよく考えてみれば、奥さんのいる人と親しくするのと、個人的な会話を盗み出して他人に渡すのとでは、どちらが“犯罪”に近いかは明らかだ。

最近、友だちや家族との会話は、電話よりもスマホやパソコンなどのIT機器を使ったテキストメッセージで行うケースが多い。プライベートでも仲が良い取引先担当者とのメッセージのやりとりなら、当然仕事の話にも及ぶし、ここだけの裏事情やぶっちゃけ話など、あまり表に出せない内密な話題も混じる。

電話や直接会っての会話なら、録音でもしない限りその場で消えてしまう。だがLINEのトークなど、テキストメッセージのやりとりは、履歴が残るところに注意したい。たいてい、情報としての価値があるとは思っていないから、管理はけっこうずさんだ。例の騒動の当人たちも、そんな感じだったと想像できる。

騒動になったLINE会話の流出は、本人たちのメーン端末からではなかった、といわれる。まずはメーンの端末を第三者に見られたり、盗まれたりしないよう厳重に管理することが、個人的な情報の流出を防ぐ基本だ。

どうやってLINEが流出するのか… 続きを読む